



JASDAQ

平成17年11月15日

各位

会社名 株式会社協和日成
代表者の役職名 代表取締役
社長 北村眞隆
(JASDAQ・コード番号1981)
問い合わせ先 執行役員
経理部長 佐々木秀一
TEL 03-3464-0121

平成18年3月期中間および通期の業績予想の修正について

平成17年5月27日付当社「平成17年3月期決算短信」において発表いたしました平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)中間および通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

中間期(平成17年4月1日~平成17年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	13,000	150	50
今回修正 (B)	11,619	16	65
増減額 (B - A)	1,381	166	15
増減率	10.6%		30.0%

通期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	30,500	500	200
今回修正 (B)	29,500	200	100
増減額 (B - A)	1,000	300	100
増減率	3.3%	60.0%	50.0%

2. 修正理由

- (1) 当中間期は、売上高13,000百万円、経常利益150百万円を計画しておりましたが、国内景気全般における踊場からの緩やかな回復持続傾向に対して、当業界は引き続き熾烈な受注競争下にあり、受注工事単価の下落とそれに伴う採算の悪化により、
売上高11,619百万円(前回予想額との差異 1,381百万円 10.6%減)
経常利益 16百万円(前回予想額との差異 166百万円 減)
中間純利益 65百万円(前回予想額との差異 15百万円 30.0%増)
となる見込です。
- (2) 下半期については、原油価格の動向が内外経済に与える影響が懸念されるものの、景気回復が続くと見込まれますが、当業界における厳しい状況に大きな変化はないものと思われまます。業種柄、下半期の売上高は上半期に比べて多いとは言え、低調に推移すると見られ、売上高は17,881百万円、経常利益は216百万円を計画しています。
- (3) 従って、平成18年3月期通期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)としては、売上高29,500百万円、経常利益200百万円、当期純利益100百万円を予想しています。

3. 参考：前期の実績

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
中間期(16/4~16/9)	12,372	43	29
通期(16/4~17/3)	30,041	259	276